



水害から命を守るために！ ～大和川氾濫等の水害への備え～

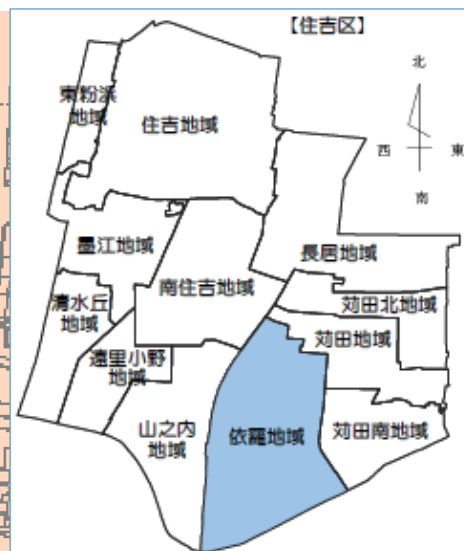
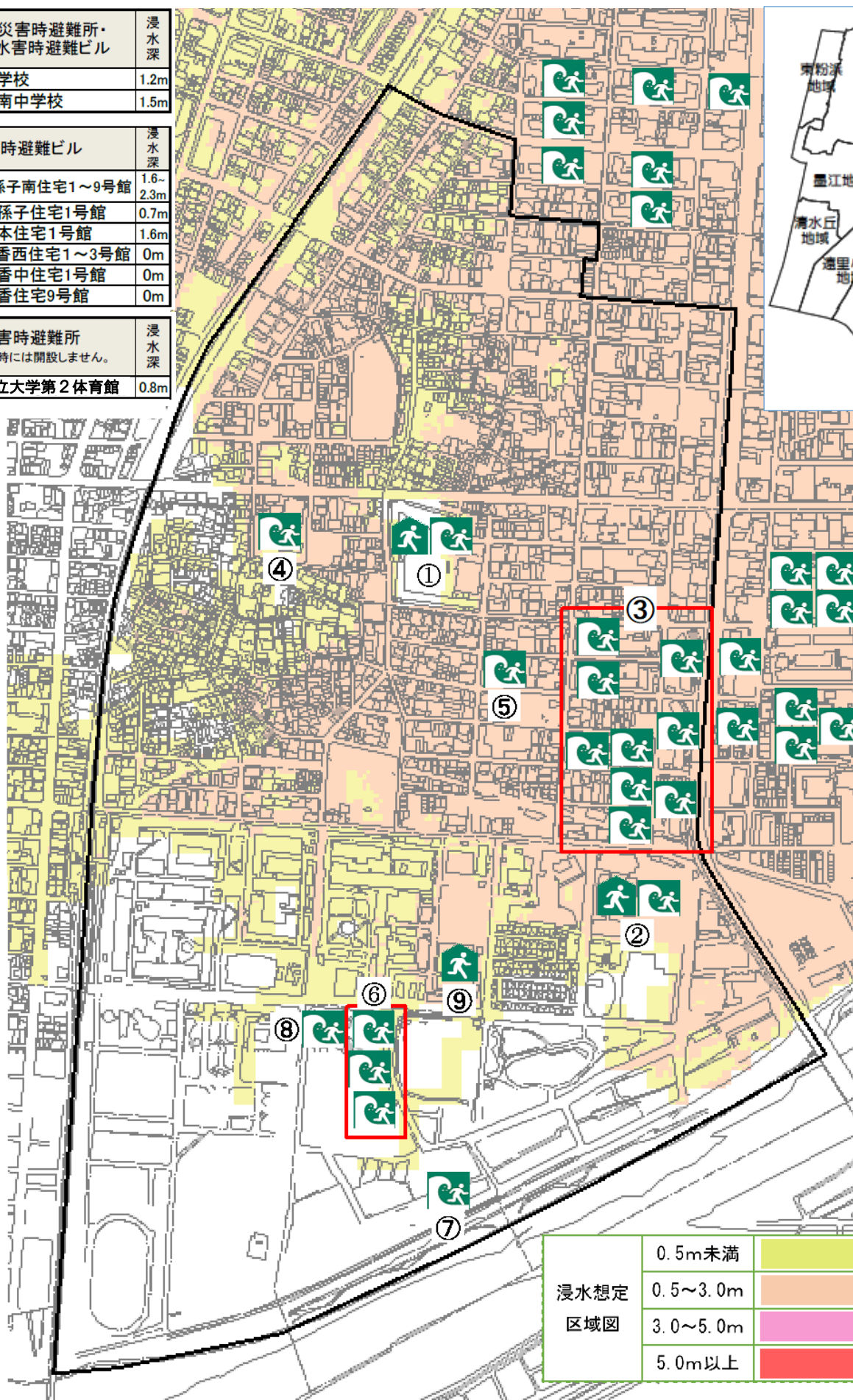
最近は大雨による被害が全国各地で発生しており、住吉区においても平成29年10月の台風21号の襲来により、大和川の水位が危険水位まで上がったことから、「避難準備・高齢者等避難開始」に続き、「避難勧告」が発令されました。河川が氾濫するおそれのある場合は、早めに避難するなど、災害を回避するための適切な行動を取る必要があります。この資料は、大和川が氾濫した場合の浸水想定や避難所情報、避難行動の目安など、水害時に役立つ情報を掲載していますので、いざという時の参考にしてください。

依羅地域水害ハザードマップにより大和川が氾濫した場合の浸水想定区域を確認しましょう！

依羅地域水害ハザードマップ(※大和川が氾濫した場合)

※平成28年5月国土交通省大和川洪水浸水区域図より(総雨量316mm/12時間で想定)

災害時避難所・水害時避難ビル	浸水深
① 依羅小学校	1.2m
② 我孫子南中学校	1.5m
水害時避難ビル	浸水深
③ 市営我孫子南住宅1～9号館	1.6～2.3m
④ 市営我孫子住宅1号館	0.7m
⑤ 市営杉本住宅1号館	1.6m
⑥ 市営浅香西住宅1～3号館	0m
⑦ 市営浅香中住宅1号館	0m
⑧ 市営浅香住宅9号館	0m
災害時避難所	浸水深
※水害時には開設しません。	
⑨ 大阪公立大学第2体育館	0.8m



浸水想定区域図	0.5m未満	
	0.5～3.0m	
	3.0～5.0m	
	5.0m以上	